

別記様式

随 意 契 約 結 果 書

件 名 及 び 数 量	恩納地区環境影響評価業務
契約担当官等の氏名 並びに所属する部局 の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官沖縄総合事務局 北部国道事務所長 高 良 保 英 (名護市大北4丁目28番34号)
契 約 締 結 日	平成17年 8月11日
契約の相手方の氏名 及び住所	(株)建設環境研究所 沖縄事務所 沖縄県那覇市宮城1-8-12
契 約 金 額 (消費税及び地方 消費税含む)	20,685,000円
予 定 価 格 (消費税及び地方 消費税含む)	20,916,000円
随意契約によることと した理由	別紙のとおり
備 考	

- 注) 1. 公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。
2. 予定価格を公表しないこととした場合、予定価格の欄には「非公表」と記載する。

随 意 契 約 理 由 書

1. 業 務 名 恩納地区環境影響評価業務

2. 履 行 場 所 北部国道事務所

3. 契 約 の 相 手 方 名称：株式会社建設環境研究所 沖縄事務所
住所：沖縄県那覇市宮城 1 - 8 - 1 2 上原ビル 2 F

4. 随意契約適用法令 会計法第 2 9 条の 3 第 4 項及び予決令第 1 0 2 条の 4 第 3 号

5. 当該業務の目的・内容及び随意契約の理由

(1) 目 的 ・ 内 容

本業務は、一般国道恩納南バイパス（L=6.5km）に係る環境影響評価手続きとして、各環境影響評価項目について予測評価を行い、環境影響評価図書を作成することを目的とする。

(2) 理 由

本業務は、一般国道恩納バイパス（L=5.1Km）及び恩納南バイパス（L=6.5km）に係る環境影響評価図書の作成を行うため、有識者等の意見聴取等や各種検討・予測・評価に多大かつ連続した時間が必要であることから、年度を跨いだ技術提案となり、前年度に「建設コンサルタント選定委員会及びプロポーザル方式に基づく建設コンサルタント等の特定手続き」に基づき審査審議した結果、総合的に優位であった株式会社建設環境研究所沖縄事務所と随意契約締結し、満足いく業務成果を得ることが出来た。

本業務は、前年度行った業務の継続であり前年度業務を実施した業者と契約することにより、一環した成果と業務の効率化を図ることが出来ると判断される。 また、プロポーザル方式において業務期間を複数年での条件設定をしているため、今年度も随意契約を締結し満足いく業務成果を得る事が出来る唯一の者と判断される。

以上の理由により、前年度に引き続き株式会社建設環境研究所沖縄事務所と会計法第 2 9 条の 3 第 4 項及び予決令第 1 0 2 条の 4 第 3 号の規定に基づき随意契約を行い業務の円滑な遂行を図るものである。